

1 学校経営ビジョン 令和6年度スローガン「築け 地域との新たなつながり 拓け 学校の可能性 照らせ 生徒の未来」 コミュニティ・スクールとして地域資源を学びに取り入れ、総合学科の特色を活かした教育を実践し、社会や地域に貢献できる人材の育成を目指す						
2 目指す学校像 ○ 生徒一人ひとりに寄り添い、全職員で支援する体制の整った学校 ○ 新しい教育に挑戦し、学力の定着を図り、生徒の望む進路を実現できる学校 ○ 地域に開かれ、地域に愛され、地域の生徒が通いたいと望む学校						
3 本年度の重点目標 （1）主体的に地域の核となる生徒の育成 （2）指導力・専門性の向上 （3）魅力ある学校づくり						
重点目標	具体的取組	評価項目	具体的取組又は達成状況	自己評価	評価	学校運営協議会評価 及び 意見
主体的に地域の核となる生徒の育成	生徒理解と支援のための教育相談体制の充実	いじめ・不登校対策委員会	・定例会として実施 ・管理職、年次主任、担任及びカウンセラーによる情報共有 ・早期対応による生徒支援	3	3	○いじめ対策の早期対応による生徒支援として、生徒向けにいじめは良くないこと（予防）の学習の場がなされているのでしょうか。 ○人権学習は人間の発達段階に応じた取組が必要であると考えます。生徒にとって、学習の内容が実感でき、意志が芽生え、育っていくことを期待します。 ○いじめ・不登校対策委員会では、きめ細かな情報共有や生徒支援の実施、また教育相談週間の確保も生徒にとって良い支援に繋がっており生徒の安心につながる事と思う。 ○年2回の読み聞かせは、町内にある読み聞かせのボランティア団体に依頼することで地域との連携に繋がることになると思う。 ○本庄高の生徒さんは、よくあいさつをしてくれます。話しかけても気さくに応じてくれます。大変好感がもてます。 ○多様な環境の生徒たちに対して、大変丁寧な対応をされていることが理解できる。読書も効果的であるが、例えば、小中学校で実施されている「陰山メソッド」を活用した朝自習の取組も効果的であるのではないかと。生徒指導上落ち着きがない状況が改善されたという報告も聞いている。 ○部活動顧問の先生方の熱心な取組が素晴らしい。そのため、寮の運営について、先生方のご負担を軽減できればよいのだが、学校運営協議会の課題として熟議を行うことも一つの手段ではないだろうか。 ○引き続き人権学習を通して、お互いを思いやる気持ち、人権の意義やその重要性について、正しい知識を身につけていただきたいと思います。
		教育相談週間	・各学期の初めに十分な時間を確保し、全生徒との個人面談を実施 ・生徒の悩みや相談を迅速に収集し対応			
		人権学習	・1年次6回、2年次2回、3年次2回実施し、外部講師も招聘			
	読書活動の推進	朝の読書	・毎朝10分間の読書を実施。 ・年間2回の絵本の読み聞かせを担当・図書委員（生徒）により実施	3		
	生活習慣の確立支援	規範意識の醸成	・学期始めや学期終わり等には年次集会を開催し、容儀指導を実施 ・朝の SHR 前に「立腰指導」を実施 ・PTAや生徒による朝の挨拶運動を実施 ・職員による遅刻指導状況を記録し、データで職員に共有	2		
	美化意識の高揚	部活動生の朝清掃	・職員有志も含め、校内外で毎朝実施（野球、サッカー、剣道、フェンシング）			
清掃指導の徹底		・全ての清掃区域に職員を配置し、率先垂範で生徒と共に活動 ・美化委員会で担当生徒のプレートをつくり各清掃場所に設置				
指導力・専門性の向上	基礎学力の定着指導	「授業の受け方5原則」	・教室掲示による周知 ・1年次においては、入学オリエンテーションで周知 ・PTA 総会での周知 ・定期的な確認も実施	3	3.8	○総合学科としての特色ある取り組みがあらゆる面で推進されていると感じています。今後、さらに魅力ある総合学科となるために、将来の職業選択を視野に入れた生徒の学習意欲を促進するための指導・体制づくり、また中学校や保護者等における認知度の向上に向けた取り組みも必要であると感じます。 ○コミュニティ・スクール事業が軌道に乗り、地域資源を学びに取り入れた事例が増え、社会的な評価も受けている。 ○教職員の授業力・教育力向上に向けた取組みが充実している。 ○学校運営協議会の運用が適正になされている。 ○「Honjo 学」に対する生徒の評価が高い。 ○部活動・同好会活動の成果に学校の指導力向上が現れている。 ○ボランティア活動への地域の期待が増している。 ○学校公認チューチューバー（Chi-Kis）の活動は地域での関心も高い。国富町と連携して地元の祭りやイベント、また古墳等の歴史的文化財などを取材し発信することはできないか。 ○基礎学力の定着指導の取組は先生方の熱意と意欲を感じる。生徒にとっては学力向上が自信につながる好循環になっている。反面、先生方がオーバーワークになっていないか心配になる。 ○目標をもち、その目標に向かって自己研鑽を惜しまないことが、検定合格や進路目標達成につながっていると感じます。後進が目標としたくなる姿を見せ続けてほしいですね。 ○令和5年度からの「HONJO 学」が、生徒にキャリア教育だけでなく、自信を持たせる学びとして大変効果的であると考え。また、PBL 型の学習スタイルにより、生徒に達成感を実感させ、更に活躍の場を広げるために有効であると感じる。 ○資格取得も生徒の可能性を広げるために活用されている。今後は、資格を生かした AO 入試での大学進学が増加することを期待している。 ○宮崎県に2校しかない『総合学科』として、「総合的な探究の時間」をより有効に活用できるとよい。探究学習の4つのプロセスである「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」を年間計画上に位置付けることが重要であると思う。特に「課題の設定」の前段階の情報として、「国富町役場」や「綾町役場」の職員を十分に活用してほしい。 ○検定・資格取得や進路決定率や就職率、進学も増えたのは、先生方の献身的な進路への相談や指導によるものと感じました。 ○2月9日の放送された「のびよ!みやざきっ子」で、「和」をテーマにした「スイーツバトル」が紹介されていました。目標を設定し取り組まれた活動でよかったです。
		学校設定科目「Honjo 学」G T Z（学力到達ゾーン）	・進路目標に応じた講座を設け、一人ひとりの進路実現を目指す ・基礎力診断テストにおいて、1・2年次とも「国語」「英語」が向上傾向であり、3年次においてはA2の生徒もいた ・2年次において、国数英のD3ゾーン（低学力ゾーン）が減少			
	系列の専門性の向上	コミュニティ・スクール事業、校外活動等	・地域の教育資源の活用 【FB】スイーツバトル、ホースセラピー、商品開発（白玉まんじゅう、おさつパウンド） 【BI】学校公認チューチューバー（Chi-Kis）が高岡警察署から特殊詐欺防止の動画制作を依頼され作成。宮崎県産業教育振興会生徒表彰を受賞 【LD】保育講座、フラワーアレンジメント講座、歩き方講座	3		
	検定合格・資格取得の充実	検定合格・資格取得状況	・日本農業技術検定 3年生9名、2年生9名（R5:3年生5名） ・全国高等学校家庭科技術検定1級三冠 3名（R5:6名） ・全国商業高等学校協会3種目1級合格（7年ぶり） ・日本商工会議所主催簿記検定3級合格 ・漢字検定3級2名（R5:5名）、準2級3名（R5:2名）、準1級1名 ・硬筆検定三段1名	4		
	進路目標達成	進路目標達成率	・進路決定率97.7%（R7.1月末時点） ・県内就職率97.1%（昨年度97%） ・進学は、宮崎公立大学（1）宮崎産業経営大学（3）南九州大学（2）、九州医療科学大学（1）久留米大学（1）、日本経済大学（1）、日本大学（1）ほか	4		
		公務員指導の充実	・公務員1次3名中3名合格（昨年度：2名中2名合格） ・国家一般事務職合格（辞退） ・串間市消防合格（内定）			
	教職員の授業力向上	校内研修の充実	・「ICT の活用及びユニバーサルデザインを意識した授業実践」をテーマにし、全ての教職員が研究授業を実施 ・Google 活用を中心に、初級編と中級編に分けて実施 ・宮崎大学的小林先生を招聘し、プログラミング教育のワークショップを開催			
		ICT を活用した授業の推進	・1年次生全員がタブレットを原則購入し授業等で活用 ・次年度新1年次生のタブレット購入は低価格の中古品購入も選択肢に入れた ・パソコンやプロジェクターを使った授業の展開 ・Google のソフト（クラスルーム）を活用した課題の配付			
特色・魅力ある学校づくり	学校運営協議会制度の活用	「本庄ひなたLABO」	・教職員による Web 会議 ・就職や進学のための Web 面接試験 ・課題研究において、企業と連携し Web 会議を実施	2	3.5	○デュアル実習の協力事業所が約 30 社増えており、学校側と企業側の連携した環境が整い、総合学科としての生徒の育成、魅力につながっていると感じています。 ○部活動等での輝かしい成績には、国富町に関わる者として大変誇らしく思えます。本人の努力もさることながら、指導される方々のご努力にもお礼を申し上げます。今後もより一層精進していただき、国富の名を全国に世界に届けてほしいです。 ○仕事に就くことは、世のため人のために尽くしていくことです。その土台を築くためにも、今できることについて自分で感じ、考え、行
	学校設定科目「Honjo 学」の導入	進路結果アンケート結果	・年次にあわせた講座の開設を実施 ・3年次生は、進路実現に向け有効的に活用 ・国公立大学に1名合格、進路決定は100%の見込み ・アンケートより、8割以上の生徒が「有効性がある」と回答	3		
	デュアルシステムの実践研究	アンケートの結果	・デュアル実習の協力事業所約180社。内、73社が今年度協力 ・2年次生100名全員参加。実習期間は8日間 ・事後アンケートにおいて、生徒の約97%が「職業選択の役に立つと思う」と回答 ・協力事業所の約75%が、「次年度も実習を受け入れたい。または、受け入れても良い」と回答	3		

	部活動とボランティア活動の推進	部活動・同好会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none">・加入率の向上：69.9%（R5:73.8%）・サッカー部 全国高校サッカー選手権大会宮崎県予選 ベスト8・馬術部 全日本高等学校馬術選手権大会九州予選団体6位、個人1位国民スポーツ大会少年馬場馬術 個人2位・フェンシング部 宮崎県高校総体個人・団体優勝、九州総体個人3位九州選抜大会男子団体 準優勝（3月開催全国選抜大会出場権獲得）・バドミントンシングルス 初心者部 優勝・チームブルーベリー同好会 第9回校内スイーツバトル開催・学校公認 YouTuber「チーキーズ」が、綾小学校、本庄小学校への出前授業・歯と口の健康ポスターコンクール最優秀賞（全国6位入賞）・書道・美術・音楽 総合文化祭各部門 奨励賞	4		<p>動することが大切です。ボランティア活動は自分の特性を知ることができるチャンスでもあるので、その輪がさらに広がっていくことを願っています。</p> <p>○Honjo 学のコースが大変効果的であると考えます。</p> <p>○デュアルシステムも大変有効。現在は売り手市場のため、デュアルシステムからアルバイトへ、その後就職の流れができれば企業としても即戦力の獲得につながるので良いのではないだろうか。</p> <p>○ボランティア活動については、本町も大変助けていただいている。ただし、生徒目線で考えるならば、総合的な探究の時間を練習試合とするならば、実社会・実生活での課題解決学習は試合といえる。ボランティアだけでなく、本庄高校の生徒さんたちに、様々な活動の企画・運営に携わっていただきたい。</p> <p>○HP については、チーキーズや情報発信に特化した生徒たちにとって一番の「表現」の場であると考えます。ちなみに綾小中学校は、毎日更新を行っており、先日中学校は閲覧数が100万をこえたところである。本庄高校ならばより充実した情報発信ができるのではないだろうか。</p> <p>○就職試験や進学の結果やアンケートでも8割以上の「有効性がある」と回答があったのも、生徒の皆さんの努力や先生方の献身的な相談対応や指導と思います。</p> <p>○部活動では、サッカー部及び馬術部、フェンシング部、バドミントン部が好成績、おめでとうございます。</p> <p>○ボランティア活動においては、綾町・国富町社会福祉協議会やボランティア団体の方と交流会ができ、本庄高校生のボランティア活動が地域にとって大事なものと感じました。</p> <p>○新聞や TV 等で本庄高校生を見ることも多くなっていました。</p>
	国際理解教育	国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none">・活動実績18回（のべ355名参加）・これまで継続して参加していたものに加え、綾マラソンや募金活動、地域の行事などにも参加・地域の社会福祉協議会と連携し、ボランティア関係団体と本校生徒によるボランティア交流会を実施・個人参加以外に系列や部活動単位での参加者増・地域の祭りや行事によって本校生徒のボランティア活動がなくてはならないものとして定着・「トビタテ！留学 JAPAN」を利用した海外留学（フィリピン）・夏休み等を利用した短期海外留学（オーストラリア・韓国）・留学支援フェアでの生徒発表（R5カナダ、R6オーストラリア）			
	情報発信の充実	戦略的な学校情報発信	<ul style="list-style-type: none">・HP ブログ更新21回（R5：44回）・1日体験入学に中3生名参加184名（R5：191名）・保護者参加147名（R5：84名）・部活動1日体験入学に中学生60名参加（R5:64名）・総合学科実践研究発表会に木脇中・八代中・綾中・高岡中生214名が参観・新聞や広報誌掲載約51回（R5：15回）、TV放映約6回	3		
その他	PTAとの連携	PTAの活動	<ul style="list-style-type: none">・PTA 総会はオンラインで開催。二次集会を含めた出席率は昨年同様81.5%と高かった。・いちいがし祭前の美化作業を実施し、77名の保護者が参加・普段手の届かないクーラー等、校内清掃を実施・PTA 朝のあいさつ運動 9月～2月の期間に、月3日間実施、70名ほどが参加・PTA 新聞、年間3回発行	3	3	<p>○学校運営協議会において、保護者の率直な意見を出して欲しい。</p> <p>○家庭も巻き込んだ活動として、学校運営協議会を更に有効に活用してほしい。学校の応援団として、協議会員の力を十二分に活用することが、本庄高校ならば可能であると考えます。</p> <p>○OPTA 活動もオンラインで開催し工夫され、参加しやすい対応や保護者の皆さんも仕事等で忙しい中、学校の美化作業も実施され、大変であったと思います。</p>

4：十分達成・期待以上 3：概ね達成・ほぼ期待どおり 2：検討の余地あり・やや期待を下回る 1：不十分・改善を要する



分析及び改善策	<p>【学校運営評議委員】</p> <p>○高校は、町内の小中学校の児童・生徒と違い、学校に通う生徒の範囲が広域化していることから、町外から通う生徒の「地域との関わり方」に疑問を感じていました。しかし、お互いが意識はしているものの、地域の教育資源の活用やボランティア活動を通じ、学校と地域の関係が双方向的になっていると感じます。今後、さらに連携を深めることで、総合学科としての魅力ある本庄高校の発展を期待しております。</p> <p>○学校側の自己評価が「2」となった項目について、指導体制にそった目標を設定し、実践できるとよい。</p> <p>特に、「主体的に地域の核となる生徒の育成」のうち、「生活習慣の確立支援」は、全ての生徒が心身共に健康に成長し、持てる力を発揮するための「基礎力」となるものである。「可能な内容の朝食摂取」「スクリーンタイム（ゲーム・スマホ・TV 等の視聴時間）の適正化」「適正な睡眠時間の確保」について、生徒自身が自己管理できるような支援体制（教育プログラム、セルフモニタリング、成果発表等）が確立できるよう、取組みを継続することが重要である。</p> <p>○本庄高校は地域の活性化にとっては必要な学校です。学校運営に地域住民が積極的に参画することで本庄高校を知り、学校をより良いものにしていくとする当事者意識を高めることで学校も地域も活性化することになると思います。そのためにも現在も実施しているコミュニティ・スクール事業、校外活動等の充実を図っていただきたいと思います。</p> <p>○生徒の皆さんも一人ひとりの個性があり、家族のあり方も多様だと思います。その点では先生方のご苦労を推察しますが、本庄高校の学習指導は、生徒一人ひとりの学習能力や個性を伸ばすことができる取組です。このことは、生徒の自信や自己肯定感の向上にも繋がっていると確信しています。今後も継続して実施していただきたいと思います。</p> <p>○若者の選挙の投票率の低迷が課題となっていることから、投票することの意義等を伝える主権者教育を行ってほしいと思います。</p> <p>○学校のスローガンに向けて、全職員で学校運営に参加し、その成果を上げてきていると感じます。特に「照らせ生徒の未来」については、生徒自身がより高みを目指すことのできるステージを提供してきたことで、生徒達にもよりよく生きようという態度が随所に見られるようになってきたのではないのでしょうか。先生方のご尽力に心より感謝申し上げます。今後も貴校の益々のご発展を祈念申し上げます。</p> <p>○教育課程については、全国に誇れるほど工夫されていると考える。</p> <p>○総合的な探究の時間については、学校独自の Honjo 学を生かしつつ、徹底した課題解決型学習に取り組むと更に本庄高校の生徒たちの活躍の場が増えるのではないだろうか。また、本庄高校で課題解決学習に取り組むことが、一つのアントレプレナーシップ教育であり、将来の東諸県郡を支える人材育成となるのではないか。</p> <p>○本庄高等学校の学校運営協議会に、地域学校協働本部、推進員が配置されると先生方のご負担が減るのではないかと。</p> <p>○今後とも、基礎学力の向上も必要なことですが、総合学科の特色やコミュニティ・スクール事業による校外活動等により、地域資源と連携し系列の専門性向上も図っていただきたいと思います。</p>	<p>【学校】</p> <p>学校運営協議会（コミュニティ・スクール）は、本校の教育計画や教育課程の編成について意見をいただき、より良い形へと進めるための協議会である。本校においては、各系列の専門性を高める実習や課題研究、デュアルシステム実習等地域との連携は欠かすことができないものであり、地域連携が重要であるが、地域と連携するためにも、この協議会の果たす役割は大きい。</p> <p>その協議会委員の皆さまに、会議の度には大変貴重なご意見をいただき、大変ありがたい。本校の取組を理解し、本校がさらに良くなるためのご助言とともに叱咤激励をいただく機会となっている。</p> <p>令和6年度も、部活動やボランティア活動、技術検定、各種活動で大きな成果を出す生徒が多く、地域の方からも多くの応援や評価をいただいている。3年次生の進路実現の実績を見ても、昨年度始めた Honjo 学の効果が大きいと自認してきたが、協議会でも評価をいただいた。また、今年度は、総合学科の全国と九州地区の研究協議会で、本校の実践を発表し、他の総合学科高校からも好評であった。これらのことから、本校の取組に自信をもつことができた。</p> <p>Honjo 学導入にあわせ、校時程の変更や終礼の廃止等を行った。生徒のタブレットを使用した連絡とタブレット活用の定着を進めたかったが、生徒のタブレット管理に課題が多く、今後整理する必要があると感じている。</p> <p>いただいたご助言を励みに、さまざまな個性をもつ本校の生徒たちが、それぞれの良さを発揮し、自分に自信を持ち社会で活躍していけるよう、教職員一同今後も精進していきたい。</p> <p>本年度までは、学校運営協議会は県内の県立5校の先行した取組であったが、次年度からは、全ての県立学校に導入される。それに伴い、次年度からは協議会規約と構成員数等を変更する予定である。</p> <p>これまでの本校の実績をもとに、本校がより発展するよう、協議会委員の皆様には、引き続き御協力をお願いしたい。</p>
---------	---	---